

## 1. 「やほこフェスタ」開催

10月10日(月)には「やほこフェスタ」を開催しました。

平成30年度の収穫祭以降、新型コロナの流行により2年に1回行っていた大型イベントの開催を見合わせていましたが、ウィズコロナ時代が叫ばれるようになった本年度は、密を回避するため屋外開催とし、イベント名称も「やほこフェスタ」と称して時候のよい10月初旬にオープンガーデンと重ねて開催しました。

来場者は約250人、その内25%は小学校児童以下の子どもたちで、賑やかな子どもたちの振る舞いに喜びました。これもイベントに子どもたちや子育て世代の方がお喜びになられる内容を盛り込んだ成果であったと思います。

また地域出身者の特別展示のお茶席(裏千家 重頭宗朋社中(旧姓:赤木朋子さん))や写真展示(二科会写真部 会友 津島恵子さん(旧姓:小川恵子さん))等は、八銚地域の人つなりの広さ・深さを示すことにつながりました。そして口和の満月マルシェさんの参加は、地域外との交流を進める八銚のアピールにつながり、やほこマルシェでは地域の特産品がPRができ、良かったと思っています。



## 2. 三斗物語開催

JR利用促進活動事業として11月12日(土) 10時00分~15時00分にウイル西城で庄原市芸備線・木次線利用促進協議会西城チーム(八銚自治振興区・西城自治振興区・西城町観光協会)主催の「三斗物語」が開催されました。三斗物語の「三斗」の意味は「三」は奥出雲・備中・備後を指し「斗」は酒蔵を指しています。来場者は試飲を楽しみ、お土産にお酒を購入されていきました。また、三斗物語の日程に合わせて備後西城駅で西城そば生産組合の「新そば祭り」と備北商工会の「土曜昼市」も開催されました。

(三斗物語で出店された地酒群)

(奥出雲) 簸上清酒

(庄原) 比婆美人

(哲西町) 三光正宗

(西城) 純米西城

(東城町) 菊文明・超群

(八銚) 西城のどぶろく



### 3. 交流事業開催状況について

#### (1) 秋のオープンガーデン

9月23日（金）～10月23日（日）まで秋のオープンガーデンを開催しました。9月は来場者の方が少なく心配しておりましたが、10月は299名の方がお越しになりました。また10月1日には「庄原ガーデンセミナー2022」で世界的に有名な庭園デザイナーの石原和幸先生をはじめ、お庭をめぐるツアー参加者の方がお越しになりました。石原先生から振興センターのガーデンについてアドバイスをいただくことができましたので、紹介します。

##### 【石原先生からのアドバイス】

- ・庭と建物の一体感を出すため校舎の壁が白いので全体的に白のイメージにしてはどうでしょうか。
- ・ウッドデッキは白にして、切り口だけ茶色で塗ったら良いと思います。
- ・花壇のブロックも白にしたらどうでしょうか。
- ・道路を通る人が振り向くような仕掛けをしたらどうでしょうか。（例としてグラウンドの周りに黄色になる菜の花を植える、道路側のフェンス部分にアジサイの花を植える等）



石原先生とツアー参加者

#### (2) しいたけ栽培講座

10月1日（土）にしいたけ栽培講座と広島経済大学の農業体験学習を合同で開催しました。参加者は、広島経済大学学生12名、振興区4名の計16名で、午前中は春に植菌・仮伏せしていた榎木の本伏せ作業を行いました。

午後からは野菜ソムリエ 加藤寛子さんの椎茸についての座学を受け、加藤寛子さん手作りの椎茸スープをご馳走になりながら、椎茸の栄養等について学びました。今後学生がカフェで椎茸を使ったメニューを考案する良い足がかりになったと思います。

また10月下旬には昨年植菌した榎木から椎茸となめこを収穫しました。

11月25日は高齢者部の事業報告会を開催しますが、その時に高齢者部の皆さんに収穫した椎茸を試食していただく予定です。



#### (3) 絲原記念館視察

10月27日（木）に20名の方のご参加を得て奥出雲へ視察に行きました。

その目的は、JRを利用して絲原記念館を訪れ、現在開催中の「簸上鉄道&木次線 特別展示展」を視察し、木次線の歴史を学ぶことです。参加者の中には木次線の歴史を知らない方も多く、初めて知る歴史にとっても興味を示しておられました。

また11月12日（土）開催の交流事業「三斗物語」の下見の為、簸上清酒も訪れました。

「簸上鉄道&木次線 特別展示展」は11月30日まで開催されており、八銚自治振興センターの鉄道グッズ類も展示されていますので、ご興味のある方はぜひ記念館をご訪問ください。



## 4. 「ツキノワグマ学習会」開催

10月5日（水）14時30分から八銚自治振興センターで「ツキノワグマ学習会」を開催しました。兵庫県から専門家（NGO東中国クマ集会）講師をお招きして、クマの分布、出没の原因、クマに会わない為の対策、クマに出会った時の対処法等を学びました。

中でも印象に残ったのは、クマに遭遇して逃げられない状況になった時は、うつ伏せになり、手を組んで首の後ろにまわし首の血管と顔を守る姿勢をとることが大事だと教わることもでき、とてもためになる学習会でした。



学習会開催風景

## 5. 地域マネージャー業務の進行状況

### （1）交流事業関係

- ①「しいたけ栽培講座」は、高齢者部の皆様を中心に今年も4月に榎木100本余りに植菌を行っていただきました。10月1日には井グタ積みで保管していた植菌済みの榎木100本余りの本伏せ作業を、今年3年ぶりに復活した広島経済大学の農業体験学習として取組み、12名の参加学生へ高齢者部の皆さんに指導していただきました。

※事故や怪我もなく終了し、午後からは野菜ソムリエの加藤寛子さんに「椎茸に関する講座」を行っていただき、次年度以降への「農業体験学習」の橋渡しが出来たかと思えます。

- ②「ガーデニング教室」では、9月15日に「秋花の植栽」と35鉢の鉢に「寄せ植え」をしていただきました。おかげさまで、9月23日～10月23日まで開催の「秋のオープンガーデン」や10月1日の「やほこフェスタ」で多くの方々に花の庭を見ていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

- ③「パークゴルフ&ウォーキング教室」のパークゴルフは、猛暑時期が過ぎましたので、9月12日（月）からクロカンパークで教室を再開し9月26日（月）と2回開催して各15名の参加をいただきました。10月24日（月）には今年度最後の開催日とし、この日は教室始まって初の教室内記念大会を会費制で行い、道後山高原荘で昼食をとりながら、成績発表・賞品等の授与を行い今年度を締めくくりました。

なお、ウォーキングは、10月14日（金）に紅葉のひろしま県民の森で11名の参加で、伊折支配人のご指導・ご案内で、健康維持のために歩く事の大切さを教えていただき、今年度のウォーキングを終了しました。また来年度の開催時期が決定しましたら、ご案内します。

- ④JR芸備線・木次線利用促進活動事業で、10月27日（木）に八銚・西城自治振興区、西城町観光協会と合同で（西城チーム）として「魅力の木次線と糸原記念館深訪ツアー」を実施しました。山に紅葉が訪れる気配を感じながら、有意義な一日を過ごす事が出来ました。今年は総勢20名（西城9名・八銚11名）の方にご参加をいただきました。

また、JR線利用促進の別企画で11月12日（土）には、備後西城駅周辺で「新そば祭り」、ウイル西城周辺で「三斗物語」を開催しました。

### （2）野菜販売関係

本年度のタマネギの供給は完了しました。10月31日時点で1040kgの供給が出来ました。

またその他の野菜 ジャガイモ205kg、カボチャ42個を供給しました。

これからは大根、白菜の出荷時期になりますので、皆様引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

### （3）自主防災、防犯関係

前回と同様、自主防災組織の設立に向け、八銚落合自治会地区をモデルに、その第一歩として避難時における避難場所及び連絡網等を各常会単位で整備を進めていただいているのですが、人口減少等により活動が出来ない状況が生じて、活動が停滞しています。

防犯につきましては、防犯カメラの設置を引き続き推進し、防犯啓発活動として年度末までに地元警察署等をお願いして、地域の方々へ講演等をしていただく計画予定です。

## 6. 「地域のこの人」紹介・・・（八銚落合自治会）渡部可菜さん

今回は、地域のアイス屋さん「西城グリーンフィールド」を経営されている八銚落合自治会の渡部可菜さんを紹介します。

50年以上前に祖父の豊彦さんが小鳥原で畜産を始められ、26年前に「美味しい牛乳を味わってほしい」との思いからアイス屋さん「グリーンフィールド西城」を始められたとのことです。

新鮮な自家製のミルクに、地物の野菜や果物を入れた「余計なものは入れない」こだわりで、店頭には定番のミルクや抹茶、パンプキンなどの他、フキノトウ、ナツハゼ、サルナシ、またたびなど旬を味わえるアイスが常時20種類以上並びます。

祖父の豊彦さんがお亡くなりになった後、お店を守ってきた祖母の英子さんの引退を受け、一昨年1月に孫娘である可菜さんがお店を引き継がれました。可菜さんが生まれた年にオープンしたアイス屋ですが「祖母が辞めると言った時、店を引き継ぐ決心した」とのことです。

大学では食品について学び、卒業後は祖母と一緒に店頭で修行し、オリジナルレシピを教わりアイスの味を引き継いだそうです。

「もう、可菜の味になってます」と嬉しそうな祖母の英子さん。「おじいちゃんが始めたお店が家族に受け継がれました」と大変喜ばれています。可菜さんにお店を譲った英子さんも山の色々なものをアイスに活かしてみたいと、現在も元気に山の恵みを収穫されているそうです。

また「やほこフェスタ」ではブルーベリーを使ったブルーベリーアイスも販売いただき大変お世話様になりました。

このたびは取材にご協力いただきありがとうございました。



祖母の英子さんと可菜さん



## 7. 市民と語る会開催

11月4日（金）19時00分から八銚自治振興センターで庄原市議会の「市民と語る会」が開催されました。出席者は13名（議員5名、議会事務局1名、西城支所1名、振興区6名）で生活交通をテーマに意見交換を行いました。

振興区からは夜間、西城病院に運ばれた人の帰りの交通手段についてボランティアで継続していくことは事故にあった時の処理についても課題があり、病院施設等に休憩所を設けて対応していく必要がある等の情報提供を行いました。



## 8. 市政懇談会開催

11月7日（月）19時00分からウイル西城 2階ウイルホールで「これからの関係人口の創出について～知ってもらう・来てもらう・選んでもらう～」を懇談テーマに「令和4年度 市政懇談会（西城地域）」が開催されました。

市からは市内外を問わず参加できる「庄原市ファンクラブ（仮称）」を設立することで、庄原を応援してくれる人を増やし、人口減少の抑制につなげていくことが提案されました。

また西城・八銚自治振興区から地域課題解決のために、子どもたちと地域住民が一緒になって活動できることとして「西城のシオラマづくり」を検討していることを提案し、市からは地域の特性や資源を再認識することや地域住民の連帯感形成に有意義な事業であり、できる限りの協力をしていくとの回答をいただきました。

